

三重大学

住所 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://www.mie-u.ac.jp/>

担当 人文学部教授 朴 恵淑

TEL: 059-231-9157 park@human.mie-u.ac.jp

<ユネスコスクール支援内容>

ユネスコスクール加盟校・申請校と産官学民の連携による地域・国際ネットワーク支援活動

三重大学は、三重県のユネスコスクール拠点大学として、ユネスコスクールの加盟校及び申請校、ユネスコスクール加盟を目指している学校の活動について、産官学民の連携による積極的な支援を行なっています。

01 三重県内のユネスコスクール・三重大学・三重県・三重県日中友好協会・中華人民共和国駐名古屋総領事館との連携による「日中平和友好条約締結 40 周年記念講演会及びトークセッション」支援

2018年6月30日に、「日中平和友好条約締結 40 周年記念講演会及びトークセッション」を行い、来賓として鄭 偉中華人民共和国駐名古屋総領事と舟橋裕幸三重県日中友好協会長、鈴木英敬三重県知事をゲストとして迎え、三重大学生、三重地区中国留学生学友会の留学生、三重県内のユネスコスクール学生との国際交流支援を行いました。特に、朴 恵淑教授をコーディネーターによる、鈴木英敬三重県知事と学生とのトークセッションにおいて、2017年12月に日中国交正常化 45 周年を記念して作成した「日中国交正常化 45 周年記念日中友好青年宣言文（和文・中文）」の実現に向けた「みえグローバル学生大使」制度が自治体初として創設されることとなりました。国籍を問わず、国際交流及び国際貢献に活躍する若者の役割が多いに期待できる成果を上げました。（写真1）

02 三重県内のユネスコスクール・三重大学・三重県・三重県内中小企業女性部会との連携による「みえ・花しょうぶサミット～魅力溢れる三重県創り」支援

2018年10月26日に、三重県内の中小企業の女性部会の活動を通じて、三重県内のユネスコスクール、三重大学、三重県との産官学民による女性の活躍に

ついて学び、三重県の近未来像について考える「みえ・花しょうぶサミット～魅力溢れる三重県創り」を行いました。まず、石川雅恵 UN Women 日本事務所長による招待講演において、2015年9月の国連サミットによって採択された、国連持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」について、国際動向及び日本の現状について学びました。その後、朴 恵淑教授をコーディネーターとして、参加者103名全員が参加するワールドカフェ形式の討論を行い、「三重県の男女共同参画に関するユース提案」をまとめ、三重県及び県内の29自治体へ政策提案を行い、2019年においてフォローアップサミットを行うこととなりました。(写真2)

03 三重県内のユネスコスクール・三重大学・三重県・三重県地球温暖化防止活動推進センター・環境省中部地方環境事務所・中部経済産業局との連携による「みえ環境フェア 2018」支援

2018年12月16日に、産官学民の連携による三重県最大の環境フェア(参加者約8,000名)の「みえ環境フェア2018～COOL CHOICE」において、三重大学を始め、三重県内のユネスコスクール活動ブースの運営及び環境トーク「地球温暖化防止活動を次世代へ繋ぐ～ユネスコ持続可能な開発のための教育(ESD)の発展的展開」を行いました。朴 恵淑教授をコーディネーターに、「伝七郎」ESDスクール顧問の九鬼紋七四日市商工会議所副会頭、三重大学生、留学生、三重中高生、高田中高生をゲストとして迎え、伊勢湾最大の松名瀬干潟での生物多様性学習、二酸化炭素測定と台湾の高校との国際交流、SNSを用いた情報発信などについて活動発表及び会場との活発な討論を行い、2019年にも継続することとなりました。(写真3)

<ESD 活動紹介>

三重大学の ESD 活動内容

01 「CAS-Net JAPAN 第4回サステイナブルキャンパス賞 2018」を受賞

2018年11月17日に、三重大学が積極的に進めている「三重大学省エネ積立金制度」が、日本サステイナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)主催の第4回「サステイナブルキャンパス(SC)賞 2018」において、大学運営部門の最高賞のSC賞 2018を受賞しました。本制度の特徴は、省エネ積立金を原資に

省エネ補助金（外部資金）の獲得を目指すことと ESCO 事業など外部委託を活用する仕組みで、中期計画のエネルギー使用量の削減目標値を達成する仕組みです。三重大学は、2017 年度においても、「スマートキャンパス事業（創エネ・蓄エネ・省エネ）」によって二酸化炭素 26.4%削減に成功し、「サステナブルキャンパス(SC)賞 2017」の建築設備部門の受賞に続く快挙で、世界に誇れる「環境先進大学」となり、さらなる継続的・発展的取り組みが求められます。(写真4)

02 ユネスコ世界遺産「熊野古道」修学ツアー

2018 年 12 月 16 日に、持続可能な社会づくりの担い手を育む（自然環境との関係性を認識する）ことを目的として、三重大学と三重県内のユネスコスクールの木本高校との共催によって「第 9 回 熊野古道 世界遺産を歩こう！」を実施しました。熊野古道は、巡礼路として日本初となる 2004 年にユネスコ世界文化遺産に登録されています。教職員と学生（留学生）の 30 名が参加し、木本高校生の英語の説明による修学ツアーでした。参加者からは、世界遺産の荘厳さを称える声やツアーの継続を望む声が多く寄せられました。(写真5)



「日中平和友好条約締結 40 周年記念講演会及びトークセッション」式典



「みえ・花しょうぶサミット～魅力溢れる三重県創り」講演



「みえ環境フェア 2018」環境トーク



「CAS-Net JAPAN 第4回サステイナブルキャンパス賞2018」受賞式



「熊野古道」修学ツアー